



COMPANY'S
CHALLENGE

NO.35



自動車業界の未来を変える エコロジー&エコノミーを提案

株式会社NAKANO商会 代表取締役 中野 隆二氏

【プロフィール】

自動車部品会社と自動車販売会社での営業経験を経て、2000年に自身も愛用していた4WD車を専門に取り扱うカーショップ『シーホースガレージ』を創業。2015年1月に株式会社NAKANO商会に社名を変更して法人登記。福岡市農林水産局に業務許可を受けて中央卸売場鮮魚市場内に長浜営業所を構え、現在に至る。

4WD車専門のカーショップで創業

長年自動車業界に携わってきた中野隆二さんは、自らの経験を活かして4WD車専門のカーショップを創業しました。

「自分も4WD車が好きで、お客様の求めるものが自分なりに分かっていました。カスタマイズ※1を行って悪い箇所を修理するのは勿論のこと、お客様が納得されるまで説明して商品の付加価値を高めた上で納車していたので、クレームを受けたことは一度もありません」と語る中野さん。当時4WD車をカスタマイズするショップが少なかったこともあり、雑誌に掲載された中野さんが手がけた車を見て全国から注文が集まっていたそうです。

しかし『誰も試みてないことに目を向けるべきではないか。変化し続けなといけない』と考えた中野さんは、4WD車の取り扱い中止を決断し、一般車の中古車販売・整備・車検を継続するかたわら新たな事業展開を模索し始めました。

※1 注文に応じてつくり替えること

トラックの運用コストが 劇的に削減!!

商用車整備事業に参入し、水産物輸送の車両整備を手がけるようになった中野さんは、約100台のトラックの整備を通して、トラックのインジェクター、DPFマフラーの故障が増えていることに気づきました。

「当時の修理方法は50~100万円の経費がかかるパーツ交換しかないとされていて、修理コストが経営を圧迫していました。そこで様々な対処法を試したところ、アメリカ製のクリーナーでパーツを洗浄すれば約数万円の経費で故障が直ることが分かったのです。トラックの性能にも影響なく、『コストダウンできた』とお客様に喜ばれています。この技術を多くの人に知ってもらいたいと考え、クリーナーの正規代理店となり、九州内の運送業者や整備工場に対して販売提案を行っています。大型車両専門の大手整備会社も興味を示してくださっているため、今後も営業活動に力を入れていくつもりです」。



1 運用コストを劇的に削減できるアメリカ製のクリーナーを用いて、トラックの故障に対応している

3 同社のエレトラックはデザイン性の高さも特徴。有名ファッションブランドからの依頼で、魚をモチーフにした商品のウィンド・ディスプレイにも登場した

2 国内16番目の自動車メーカー「日本エレクトライク」の福岡販売店として、家庭のコンセントから充電可能な電気三輪自動車の拡販に取り組む

4 テレビでの紹介などでも注目される、高齢者等の安全運転をサポートする誤発進防止システムの福岡西部エリア代理店も務める

運搬車両に新風を巻き起こす

車両整備の仕事を通して、水産業界の情報も入るようになりました。当時、長浜鮮魚市場構内用の運搬車両を取り扱っていたのは1社のみで、『選択の幅を広げてより良い車両を購入できるよう、購入先を増やして欲しい』という声も一部で上がっていたそうです。

「従来はすべてガソリン車でしたが、当社は東京築地市場で導入されていたバッテリー式運搬車『エレトラック』※2を提案。排気ガスもなく、低コスト、環境にも優しいことを根気強くアピールしたところ、株式会社アキラ水産 代表取締役社長の安部泰宏氏（当所副会長）をはじめとする福岡市中央卸売市場の皆様にご理解いただき、採用していただくことができました。折しも高度な衛生を管理するために市場の整備が求められる気運が高まっていたこともあり、2015年には福岡市の認可を受けて市場内で営業所を開設できました」。

※2 原動機・駆動装置を収めた円筒形の車体の後に荷台を付けた小型運搬車、通称「ターレットトラック」。先日同社のエレトラックは、有名ファッションブランドのウィンド・ディスプレイにも登場

電気三輪自動車で成長を目指す

ある時、中野さんは神奈川県の本チャーター企業が電気三輪自動車『エレクトライク』※3を開発したというニュースを見ました。オート三輪を彷彿とさせるそのデザインに一目惚れした中野さんは、すぐさまその企業を訪問し、九州での広報宣伝役に名乗りを上げました。『バイク並みの機動性、軽自動車並みの安定感と積載量を兼ね備えているだけでなく、家庭用コンセントから充電可能でCO₂の排出ゼロ』という幾つものメリットを確認するため、2017年8月から大手宅配業者の協力を得て試験的に導入し、実証実験を行っています。

「実際に運転された方から『配達しやすい』と好評である上、大幅なコストダウンになることがわかりました。自動車メーカーも海外での量産体制の構築を進めているそうなので、車両価格が下がればもっとニーズは高まるはず。今後は時代にマッチしたエコな電気三輪自動車の魅力を広めることに力を入れていきます。導入した現場の声

を自動車メーカーに伝えるなど、商品改良にも貢献したいですね」と意欲を語る中野さん。

常に情報のアンテナを張り、誰も試みていないことに積極的に取り組み、エコロジー（環境配慮）とエコノミー（経済性）の視点から、自動車業界を変えるチャレンジを続けています。

※3 家庭のコンセントから充電が可能な電気三輪自動車



株式会社NAKANO商会

〒814-0175 福岡市早良区田村3-23-6
TEL 092-874-8800
FAX 092-874-0120
<http://www.nakano-syokai.com/>